

平成 23 年 11 月 9 日に開催した平成 23 年度第 3 回公立大学法人静岡文化芸術大学
経営審議会の結果は次のとおりである。

1 協議事項

(1) カリキュラム改正について

ア 趣旨

自立して実社会で生きていける人材の養成という基本理念を実現すること等の目的、基本方針、留意事項、改正の流れ等の学部の教育課程改正の基本方針案について、意見を求める。

イ 主な発言

- ・現状のカリキュラムは専門科目が細分化されている面があるので、それよりも、その科目の根幹にあるものを学ばせたい。また、両学部の融合を図ることで、基本的な考え方の幅を広げることができる。
- ・教員の意識の変化、学生の質の変化、社会状況の変化に対応することを目的とした改正である。
- ・中期目標にある人材育成を実現するには、学士力を育てる必要がある。そのためには、これまでの 10 年間で踏まえ、この大学の弱さを補強し、強みを伸ばすことが重要である。
- ・自文化と多文化の基礎的な知識及び一般教養は大切であり、まず日本語で自分自身を表現する力が重要である。なお、留意事項の「科目数・非常勤講師数・集中講義数の整理」については、経営面から重要である。
- ・自主自立、目的意識を学生にどう植え付けるのかが、人材育成のポイントである。
- ・教育課程改正の目的のうち、企業が最も期待するのは①の「創造的活動を通じて社会に貢献できること」であり、いろいろな意見や考え方を持って社会や時代の変化に対応できる学生を育てることが重要である。
- ・県内企業の海外進出は著しい。これからの大学は、海外との交流を活発に行うべきである。
- ・学生を育成するには、まず、この大学に根ざしてやっといこうという専任教員を育てることが大事である。

2 報告事項

(1) 就職内定状況について

事務局から、平成 24 年 3 月卒業予定者の就職内定状況について、前年同時期と比べ全学で 4.1 ポイント低いこと、また、未内定者に対してはメール等で求人情報提供等の対応をしているとの報告がされた。

(2) 第 6 回国際オペラコンクールの開催について

事務局から、今月 12 日から 24 日にかけて開催する第 6 回国際オペラコンクールについて、報告された。

以上により議事を終了